

– ICFシステム&行動観察システム –
行動と環境の包括的アセスメントによる環境調整
支援パッケージ

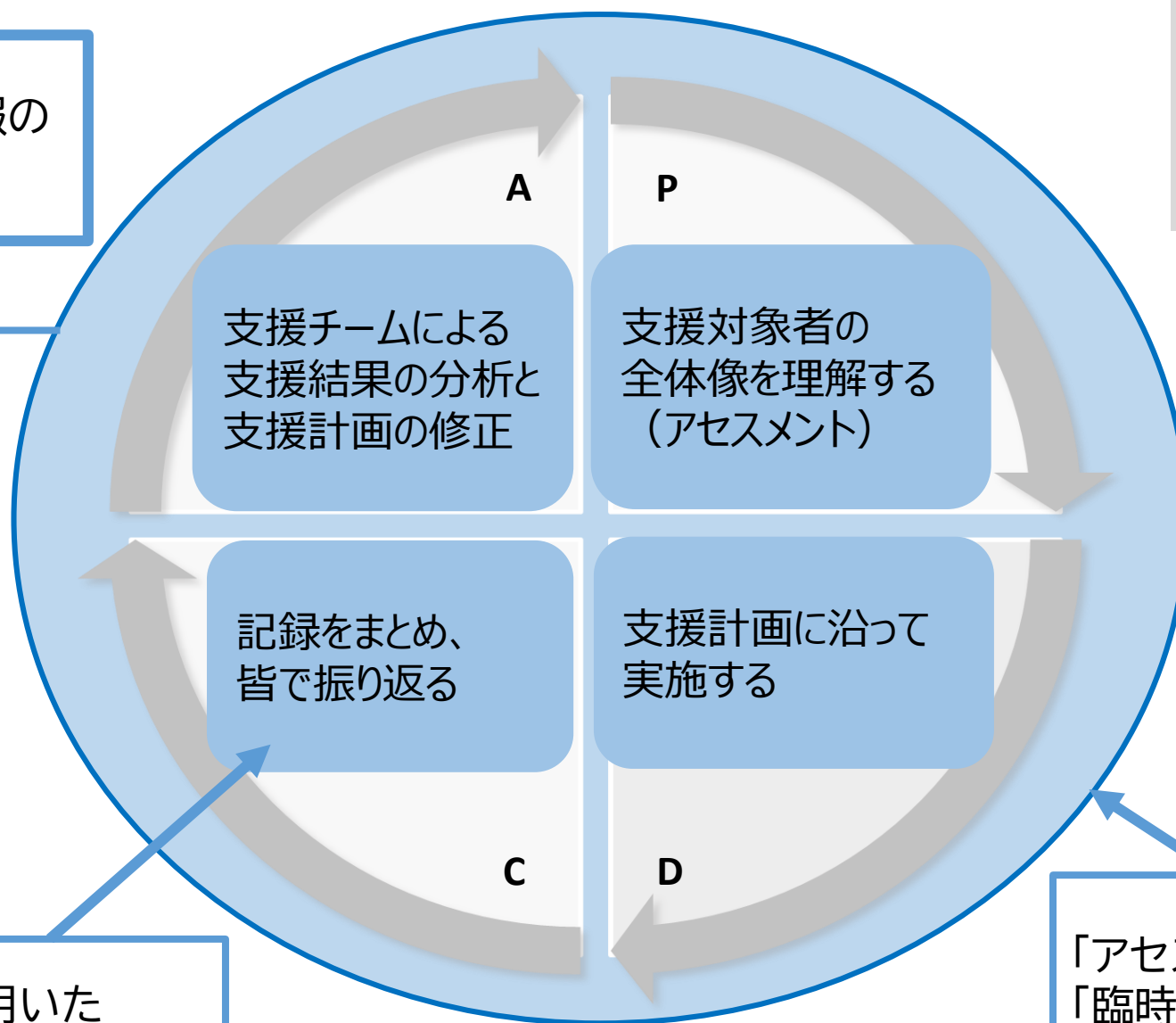
【実施マニュアル 令和3（2021）年度版】

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
令和4（2022）年3月

パッケージ(PDCAサイクル)のイメージ

ICFを用いた情報の
収集と整理

Plan = 計画を立てる
Do = 実施する
Check = 振り返る
Action = ニーズを分析する



Observationsを用いた
情報の共有と分析、支援効果の
評価

「アセスメント」「日常の記録」
「臨時の記録」の必要な項目を
確認するための「自己点検
チェックリスト」の活用

支援パッケージの流れ

内容	使用するツールなど
① ICFシステムへ記入し、全体像の把握	● ICFシステム
② 行動記録表を記入し、課題となる行動を選定する	● Observations Sheet
③ 記録の確認	● Observations分析HP
④ 課題となる行動のベースラインの記録	● Observations2
⑤ 記録の確認	● Observations分析HP
⑥ 支援会議の実施 冰山モデルシートで行動の背景を整理する	● 冰山モデルシート
⑦ 支援手順書の作成	● 支援手順書（事業所のもの）
⑧ 支援の実施 行動の記録	● Observations2
⑨ 記録の分析	● Observations分析HP
⑩ ICFシステムを見直し、支援前後の全体像の比較	● ICFシステム
⑪ 支援手順書の修正 ※⑧支援の実施へ戻り、サイクルを繰り返す	● 支援手順書（事業所のもの）

① ICFシステムへ記入し、全体像を把握する

- 使用するもの：ICF情報把握・共有システム（以下、「ICFシステム」）
- 取り組んでいただきたいこと：ICFシステムを使用し、利用者の全体像を把握し、情報を整理する。

（1）ICFシステムの「情報把握シート」（Excel）を作成する

ICFコアセット 活動と参加 17歳以上 情報把握シート 第1章

「活動と参加」シート 3つの質問 記入のしかた

①支援なしの場面では	<input type="checkbox"/> 困難あり	<input type="checkbox"/> 困難なし	<input type="checkbox"/> 詳細不明・非該当
質問1では、支援なしの場面で少しでも困難があれば「困難あり」を選択して下さい。「困難なし」は、項目が示す内容を、支援なしでも自力で達成できる場合を選択して下さい。			
②いま支援があるかどうか	<input type="checkbox"/> 支援あり	<input type="checkbox"/> 支援なし	<input type="checkbox"/> スキップ
質問2は、質問1で「困難あり」を選択した場合に回答可能となり、それ以外では「スキップ」が自動的に選択されます。支援のあり・なしについては、なにか少しでも支援をしていれば「支援あり」を、何もしていなければ「支援なし」を選択して下さい。			
③支援の効果は	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 小さい	<input type="checkbox"/> スキップ
質問3は、質問2で「支援あり」を選択した場合に回答可能となり、それ以外では「スキップ」が自動的に選択されます。支援の効果については、困難さの軽減が見られており支援の継続あるいは微調整でよい場合には「大きい」を選択して下さい。困難さの軽減が見られなかったり少しだけだったため、今後の支援効果の見極めあるいは支援の修正が必要である場合には「小さい」を選択して下さい。			

※情報把握シート「環境因子」

ICFコアセット 環境因子 17歳以上 情報把握シート 第1章

第1章 学習と知識の応用

1. 目的をもって（わかろうとして、知ろうとして）五感（視・聴・嗅・味・触）を使うこと。

項目番号	項目タイトル	支援なしで	いま支援は	支援効果は	チェック	補
d110	目的をもって見る	困難あり	支援なし	スキップ	<input type="radio"/>	①味
d115	目的をもって聞く	困難あり	支援あり	大きい	<input type="radio"/>	①と②③
d120	目的をもって触る・嗅ぐ・味わう	困難あり	支援あり	大きい	<input type="radio"/>	①②③に

第1章 製品と用具

1.2. 食べ物や飲み物、薬や栄養補助剤

項目番号	項目タイトルと環境因子の影響を把握する視点	把握状況	チェック	補足情報（当該項目の環境因子の具体例と具体的影響）
e110a	食べ物や飲み物	把握状況	<input type="radio"/>	①悪影響・生活低下の食品とその状態：納豆が苦手。納豆が出ると給食を投げてしまい食事が摂れない。水分摂取量に限りがなく、水道水を飲み過ぎて嘔吐する ②好影響・生活上の食品とその状態：会食会 ③その他：納豆は、代替品で対応している。入浴後は嘔吐しやすいため、入浴前の服薬や食事提供は避けている
	生活の低下につながる悪影響をもたらすもの	あり		
e110b	薬や栄養補助剤	把握状況	<input type="radio"/>	①悪影響となる薬とその状態： 職員との関わりを求めるときに自傷行為を行い、塗り薬を要求する ②好影響となる薬とその状態：早朝覚醒があるため、眠剤の薬内容を変更し、睡眠の導入を促す物から持続する物に変更 ③その他：薬を塗る時間を決めることで、薬へのこだわりが減った。睡眠リズムが整い、昼夜逆転がなくなった。
	健康度低下や生活の崩れ・依存につながる薬やサプリメントの悪影響	あり		
	健康度向上とよい生活の維持につながる薬やサプリメントの好影響	あり		

1.3. 個人が日常生活や遊びで使う製品と用具

項目番号	項目タイトルと環境因子の影響を把握する視点	把握状況	チェック	補足情報（当該項目の環境因子の具体例と具体的影響）
e1150	日常生活で使う一般的な製品と用具（改造や特別な設計なし）	把握状況	<input type="radio"/>	①不快・使いにくい日用品と生活しづらさ：家電製品全般。興味はあるが、使用方法がわからず破壊行為に至ってしまう。特に扇風機へのこだわりが強い ②快適・使いやすい日用品と生活しやすさ：CDラジカセ。クラシック音楽を聴いているときは落ち着いていることが多い。 ③その他：扇風機を見ると壊してしまうため、扇風機を撤去し、エアコンでの生活に変更。エアコンのルーバーは外している
	使用時の不快さや使いにくさで生活のしづらさをもたらす日用品	あり		
	使用時の快適さや使いやすさで生活のしやすさをもたらす日用品	あり		
e1151	日常生活での使いやすさを支援するために工夫・改造された製品と用具	把握状況	<input type="radio"/>	①不快・使いづらい支援用品と役立つなさ：トイレ後方に座るため便座を常に汚すことが見られる。背もたれにクッション材を設置したが、体制の変更と排尿時の失敗が増えた ②快適・使いやすい支援用品と役立つ方： ③その他：クッション材は撤去する
	使用時の不快さや使いづらさで生活に役立つ支援用の日用品	あり		
e11520	一般的な遊び用の製品と用具（改造や特別な設計なし）	把握状況	<input type="radio"/>	①不快・使いづらい遊び用品と妨げる状態：車の雑誌は好きだが、刺激が強く、外出の要求が増える。自分要求が通らないことで不安定になる。他の利用者に雑誌を破られてしまう
	使うのが不快で使いづらいために遊びを妨げる遊び用の製品や用具	あり		

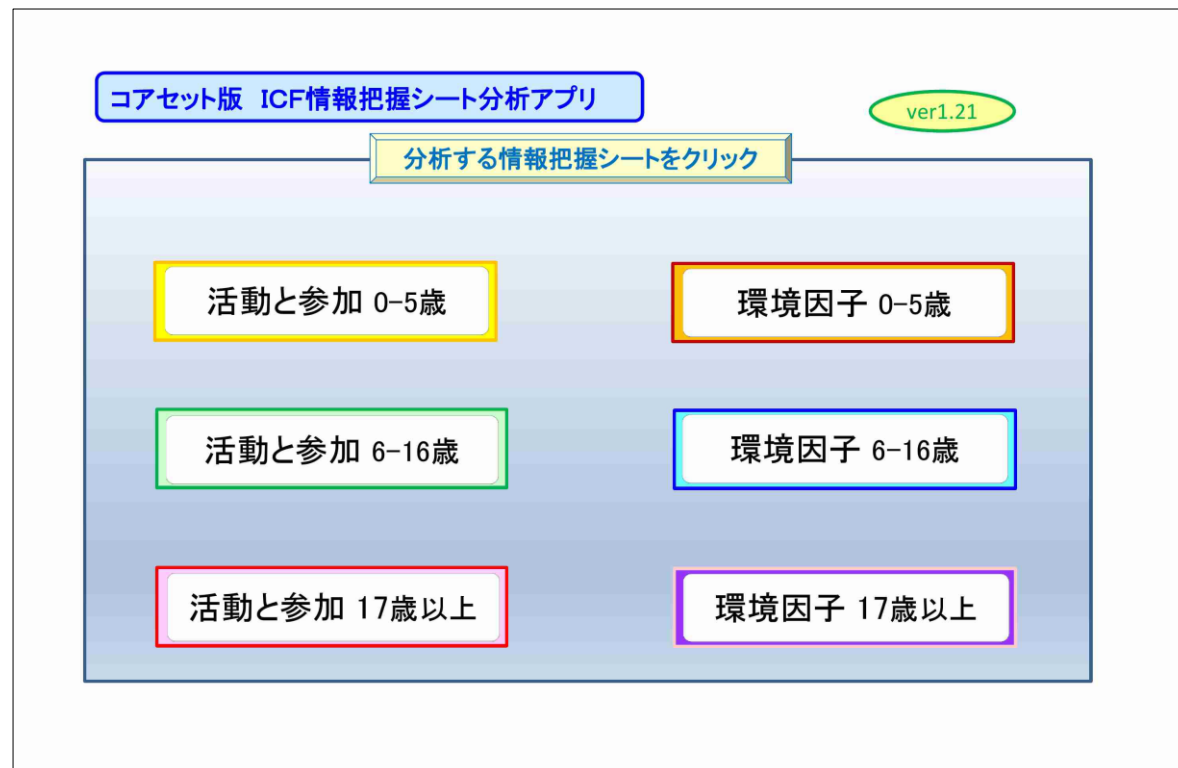
※情報把握シート「活動と参加」

- 対象となる利用者について、情報分析シートの各項目に沿って利用者の情報を記入する。
- シートのなかで、「活動と参加」、「環境因子」は必ず記入する。

【記入の際の留意事項】

- 推測ではなく、事実をとらえるためのシートという観点で記入する。
- 回答が難しい場合は、無理に回答しなくてよい。
- 「補足情報」は利用者の状況が把握できるように、なるべく具体的に記入する。
- 「わからない」「機会がないので判断できない」項目については、「詳細不明・非該当」を選択してよい。その場合、なるべく「補足情報」の「④その他」にその理由を記載しておく。

(2) ICFシステムの「情報把握シート分析アプリ」(Excel) を使い、内容を整理する



- 「ICF情報把握シート分析アプリ」で、該当する項目（「活動と参加」「環境因子」など）をクリックする。
- 記入した情報把握シート（Excel）を選択する。

※「ICF情報把握シート分析アプリ」によって整理された「活動と参加」の項目の例

【強み（支援なしで困難なし）】

項目番号	項目タイトル	支援なしで	いま支援は	支援効果は	チェック	補足情報
d455	移動すること	困難なし	スキップ	スキップ	○	①歩行は自力で行える
d540a	衣服の着替え、履き物の脱ぎ履き	困難なし	スキップ	スキップ	○	①衣類の着替え、履き物の脱ぎはぎは一人で言うことができる

- 記入した内容によって項目ごとに
カテゴリー別に整理される。
- 項目ごとの内容を確認し、利用
者の全体像の把握や支援に必
要な視点などを整理する。

【支援の修正（支援効果小さい（なし））】

項目番号	項目タイトル	支援なしで	いま支援は	支援効果は	チェック	補足情報
d132	質問して知ろうとすること。	困難あり	支援あり	小さい	○	①本人から声出しやジェスチャーで質問をしてくるが、表現が曖昧で理解困難 ②コミュニケーションシートを活用し、指さして要求内容を確認する ③コミュニケーションシートだけでは、本人の質問・要求の意図が汲み取れないことが多い
d155	日常生活に必要な行為やスキルの習得	困難あり	支援あり	小さい	○	①物の扱いの加減ができない ②自助具の活用 ③こだわりが強く、一度獲得した方法を変更することが困難
d160	何かに注意を集中すること	困難あり	支援あり	小さい	○	①活動中に何度もトイレに行く ②タイマーを活用したり、活動終了後に本人の好きなものを取り入れることで仕事に集中できるようにする ③活動時間に変化はない
d161	課題や作業が終わるまで注意を逸らさないこと	困難あり	支援あり	小さい	○	①活動中に何度もトイレに行く・課題を壊す ②本人の興味関心のある課題内容に変更する ③初めは活動に集中できるが、途中から課題を壊し始める
d166	読むことの実生活での活用	困難あり	支援あり	小さい	○	①好きな車雑誌を見ることは好きであるが、文字を読むことはできない ②本人の好きな車の雑誌を定期的に提供する ③車の雑誌を見ることで外出の要求が多くなる

② 行動記録表を記入し、課題となる行動を選定する

- 使用するもの：Observations Sheet（スマホアプリ）
- 取り組んでいただきたいこと：1週間の行動を記録し、課題となる行動を選定する

※課題となる行動は複数選択してもよい。



(1) 記録表を作成し、名前を入力する

- ・対象となる利用者の名前を入力する。
- ※名前は受講番号で記入する。



(2) 行動を記録する日を選択する

- ・「記録表一覧」画面で、対象となる利用者を選択する。
- ・行動を記録する日を選択し、右下の+ボタンをタップする。



(3) 行動を記録する

- 項目に沿って記録する。
- 項目は、「行動」「時間帯」「場所」「状況（人）」「状況（行動）」「対応」「推定される機能」
※一度記入したものはタグマークをタップすることで選択することが可能。

(4) 1週間分の行動を記録する

- 対象期間とする1週間分の行動を記録する。
- 1週間記録をとった段階で、chatworkでグループと記録の内容や状況などを共有する。

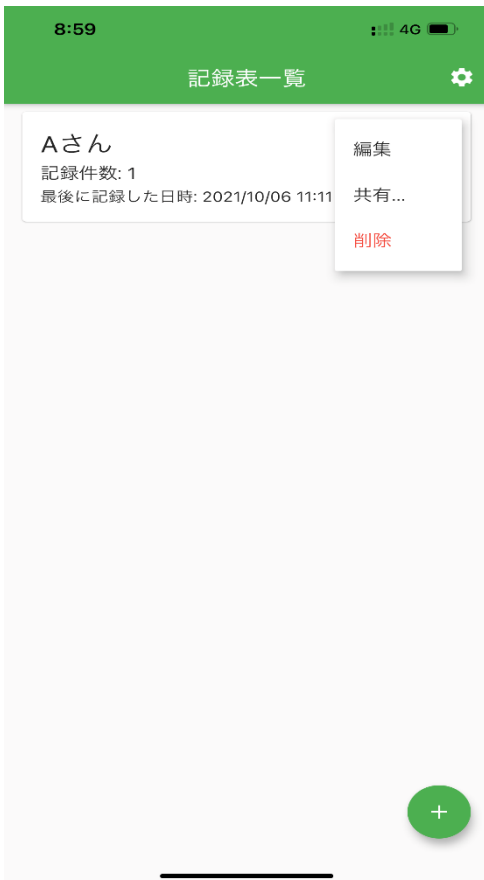


※記入例

③ 記録を確認する

- 使用するもの：Observationsの分析用HP
- (URL : <https://observationsanalysis.web.app/>)
- 取り組んでいただきたいこと：

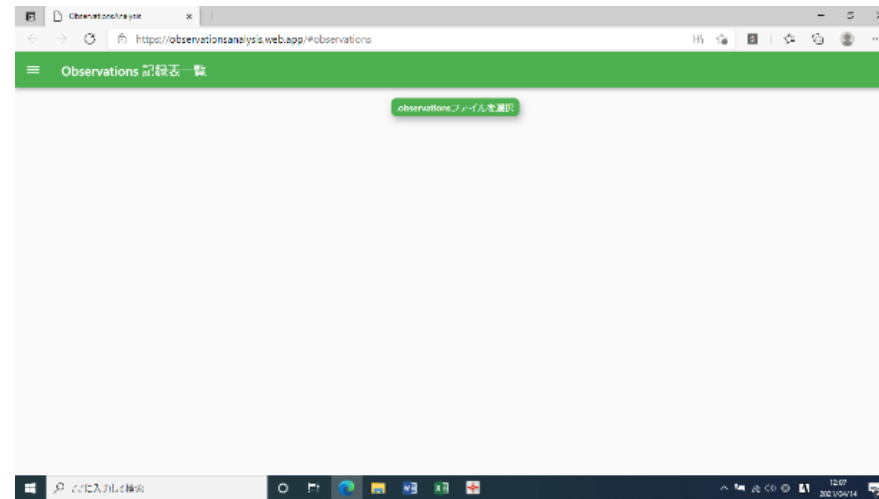
(1) アプリの記録をPCに送る



これまでアプリ
(Observations Sheet、
Observations 2) で
取った記録を、各記録
の画面右上のメニュー
から「共有」を選択し、
データをメールでPCへ
送信する。

(2) 分析用HPにデータをアップロードする

Observations分析用HPを開き、左上のメニューボタ
ンから該当するアプリを選択し、記録のデータをアップ
ロードする。



(3) アップロードしたデータを確認する

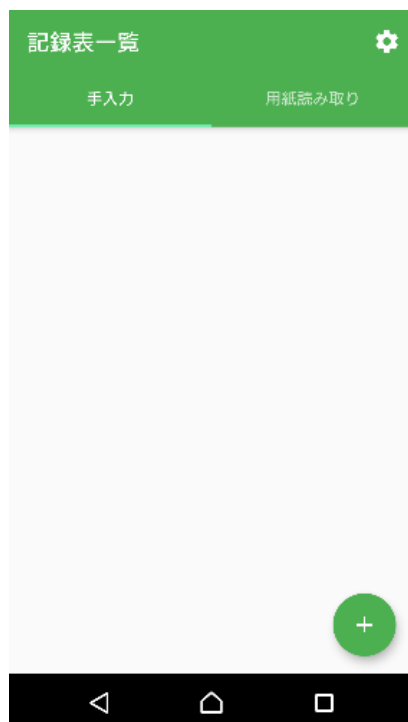
The screenshot shows a web browser displaying a detailed record for 'Aさん' titled 'Aさんの記録一覧'. The record is shown in a table format with the following columns: 番号 (Number), 記録日時 (Record Date/Time), 先行事象 (Preceding Event), 行動 (Action), and 後続事象 (Subsequent Event).

番号	記録日時	先行事象	行動	後続事象
1	2021/05/23 10:57	時間帯: 2021/05/23 10:57 場所: 居室～廊下 状況 (人): 職員 状況 (行動) 起床～朝食時は言葉遊びをしている。朝食後「やさしいジュースください」カードを忘れていたため促し、本人すぐに取りに帰る。帰室後、居室から走り出て職員に手を上げて向かう。	大不穩 (掴みかかり、号泣、ハンカチ破り)	対応: 興奮状態になっており、メモ提示するもなかなか入らず、職員に掴みかかること繰り返す。 「①おへや②すわる③おちつく④やさしいジュース」のメモ提示で少し切り替わり、手洗いセット要求。その後も走り出て職員に向かうことが11:00頃まで続き、都度メモ提示を行う。本人スケジュールを組み立てたり、「しんこきゅう！」と言いつつハースハーと息をしたりする。ソファを倒して横になり、徐々にトーンダウンする) 推論される機能:

分析用HPで
アップロード
したデータ
はcsv形式
でダウン
ロードが可
能。

④ 課題となる行動のベースラインを記録する

- 使用するもの：Observations 2（スマホアプリ）
- 取り組んでいただきたいこと：行動の頻度や時間帯などを継続して記録する。
- ※記録を取る行動は、複数でも可。



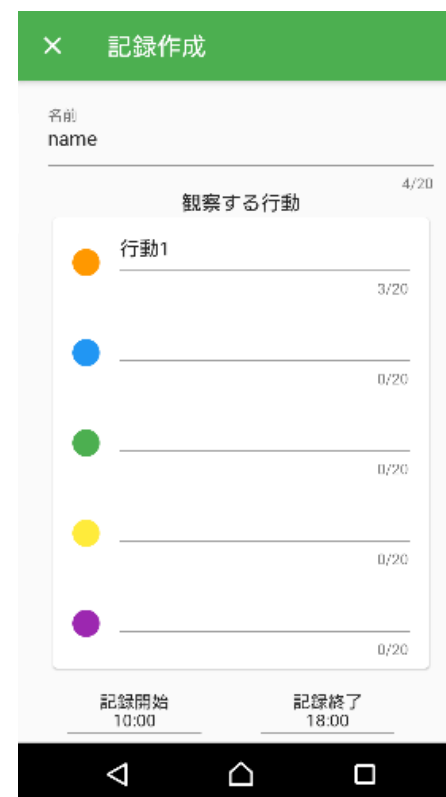
（１）名前を入力する

対象となる利用者の名前を入力する。
※名前は受講番号で記入する。

※記入例

（２）記録する行動を入力する

- 作業②で選択した行動を入力する。
- 入力は、「記録する行動」
- 記録する時間について「記録開始（時間）」「記録終了（時間）」「記録間隔」を設定する。



時間	頬をたたく	服を破る	水へのこだわり	大声	未観察
10:00	0	0	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>
10:30	2	0	0	0	<input type="checkbox"/>
11:00	5	0	1	3	<input type="checkbox"/>
11:30	0	0	0	1	<input type="checkbox"/>
12:00	2	0	1	3	<input type="checkbox"/>
12:30	1	0	0	1	<input type="checkbox"/>
13:00	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>
13:30	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>
14:00	1	0	0	2	<input type="checkbox"/>

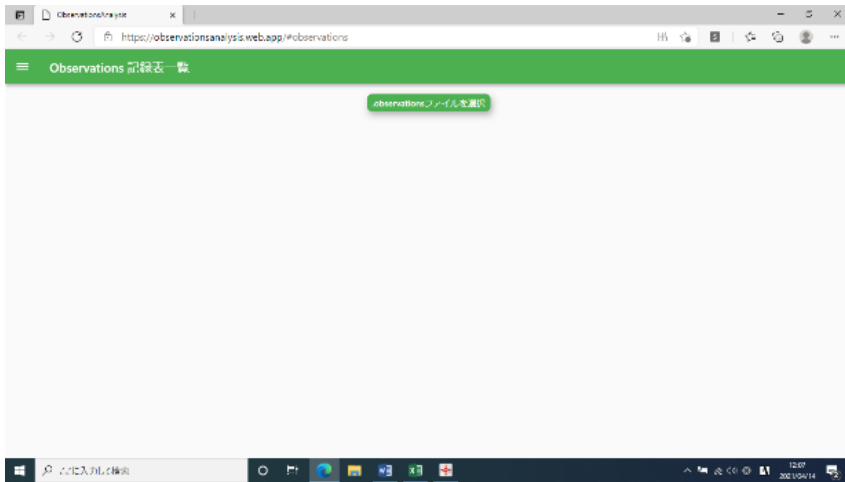
(3) 行動の頻度を記録する

- 記録する日を選択する。
 - 時間帯ごとに行動の回数を記録する。
- ※時間帯ごとの行動の項目をタップすることで記録される。
 (タップした回数が増えていく)
- ※修正する場合は右上のメニューボタンから修正を行うことが可能。

(4) 行動の傾向を確認する

「測定時間における行動生起率」を確認する。





(5) 行動の記録を積み重ねる

毎日2週間続けて記録をとる。

2週間記録をとった段階で、chatworkでグループと記録の内容や状況などを共有する。

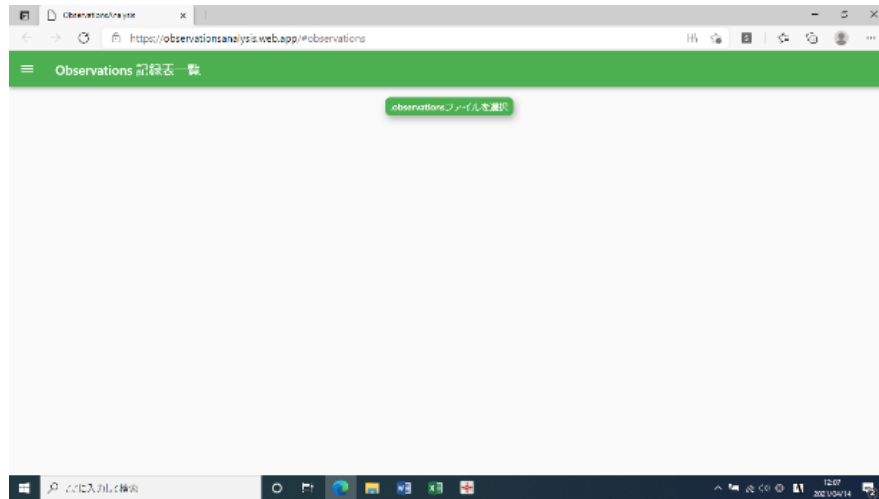
⑤ 記録を確認する

- 使用するもの：Observationsの分析用HP
- (URL：https://observationsanalysis.web.app/)
- 取り組んでいただきたいこと：

(1) アプリの記録をPCに送る

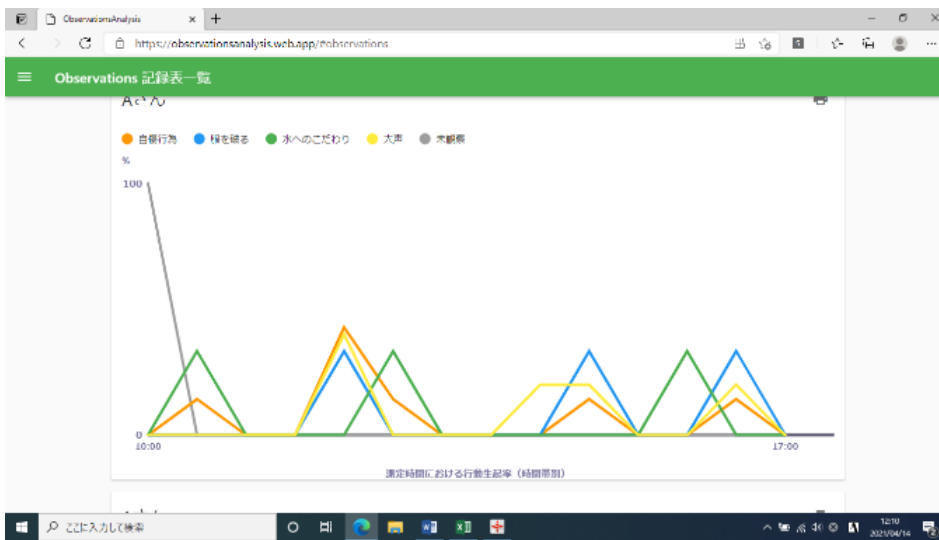
これまでアプリ (Observations 2) で取った記録を、各記録の画面右上のメニューから「共有」を選択し、データをメールでPCへ送信する。





(2) 分析用HPにデータをアップロードする

Observations分析用HPを開き、左上のメニューボタンから該当するアプリを選択し、記録のデータをアップロードする。

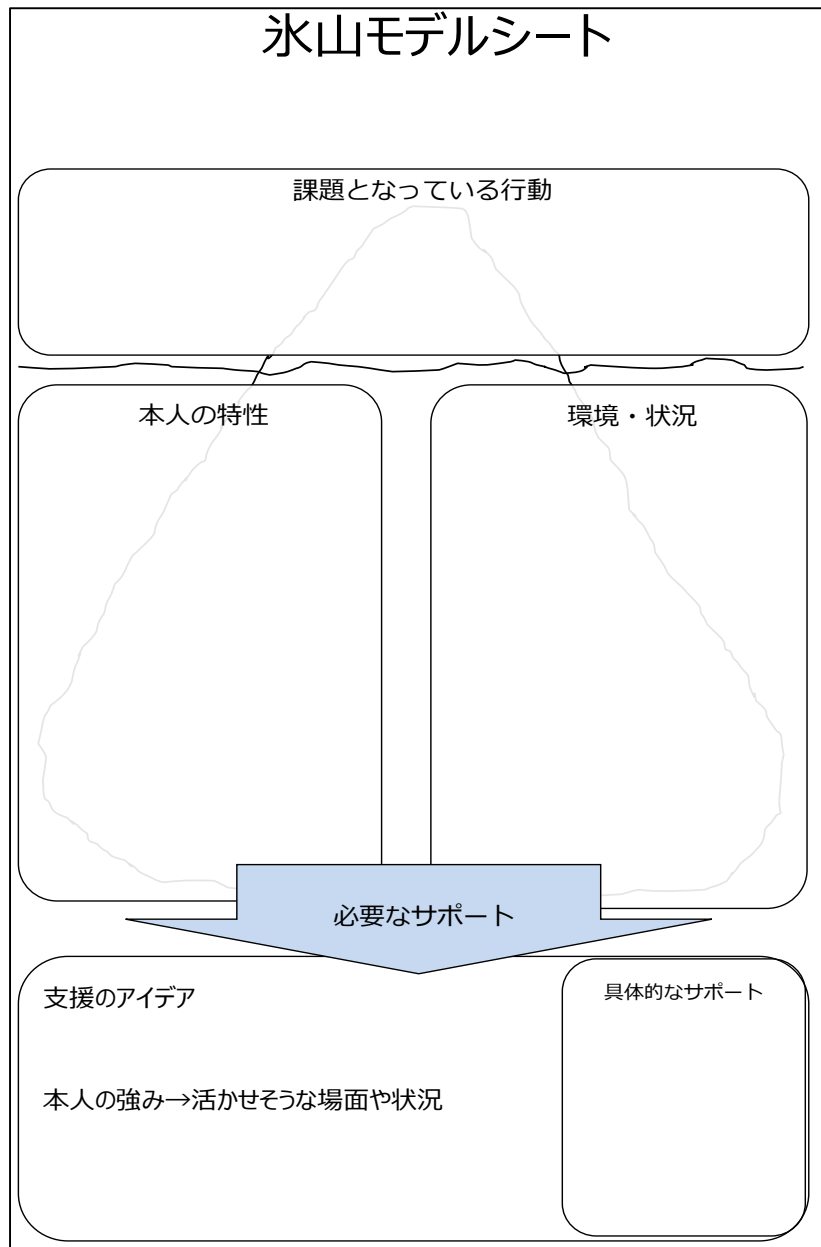


(3) アップロードしたデータを確認し、分析を行う

分析用HPでアップロードしたデータを活用し、分析を行う。

⑥ 支援会議を実施し、冰山モデルシートで行動の背景を整理する

- 使用するもの：冰山モデルシート
- 取り組んでいただきたいこと：ICF（作業①）と記録（作業②④）等をもとに支援会議を行い、課題となっている行動の背景を整理する



(1) 「冰山モデルシート」に落とし込む

- 課題となっている行動について、冰山モデルの項目に沿って背景要因を分析する。
- 分析した内容をシートに入力する。
※項目は、「課題となっている行動」「本人の特性」「環境・状況」
- 必要なサポートを検討し、入力する。
※項目は、「支援のアイデア」「本人の強み→活かせるような場面や状況」「具体的なサポート」
- 作業②④で複数の行動の記録を取った場合は、それぞれの行動に対して冰山モデルシートに落とし込む。

⑦ 支援手順書を作成する

- 使用するもの：支援手順書（事業所で使用しているもの）
- 取り組んでいただきたいこと：ICF（作業①）と記録（作業②④）、冰山モデル（作業⑥）を踏まえて、必要な支援を検討し、支援手順書を作成する。
- 支援手順書を作成した後、chatworkでグループと共有する。

⑧ 支援の実施および行動の記録をおこなう

- 使用するもの：Observations 2（スマホアプリ）
- 取り組んでいただきたいこと：作業⑦で作成した「支援手順書」を基に支援を行い、作業⑥の記録を引き続き行う。

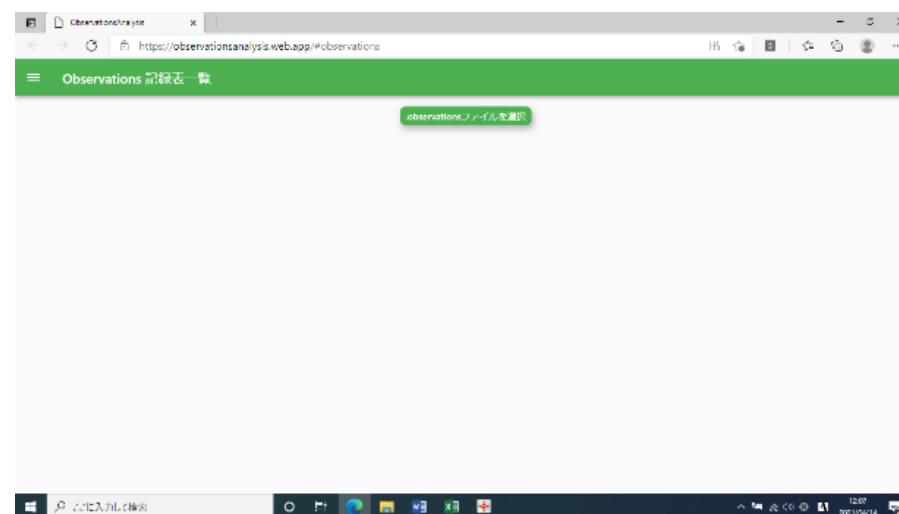
⑨ 記録を確認する

使用するもの：Observationsの分析用HP
(URL：https://observationsanalysis.web.app/)
取り組んでいただきたいこと：



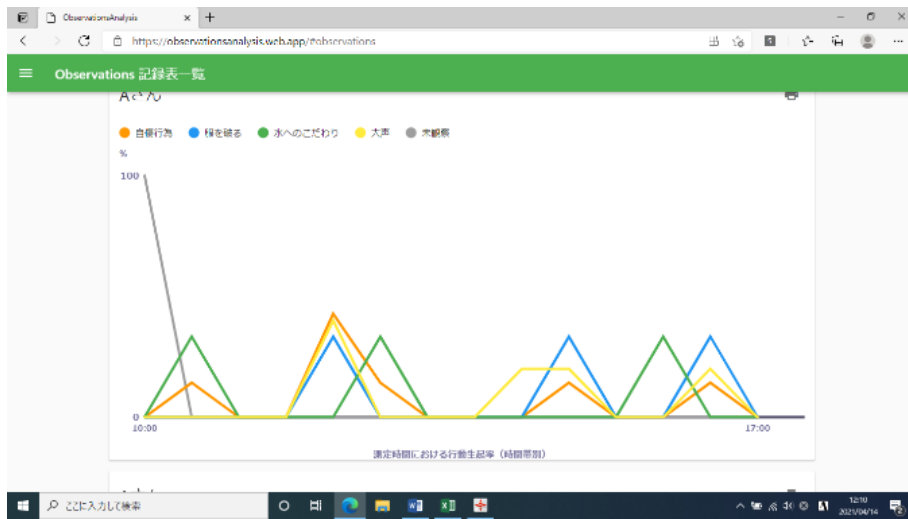
(1) アプリの記録をPCに送る

これまでアプリ（Observations 2）で取った記録を、各記録の画面右上のメニューから「共有」を選択し、データをメールでPCへ送信する。



(2) 分析用HPにデータをアップロードする

Observations分析用HPを開き、記録のデータをアップロードする。



(3) アップロードしたデータを確認する

分析用HPでアップロードしたデータを基に、支援の効果を確認する。

⑩ ICFシステムへ記入し、支援前後の全体像を比較する

使用するもの：ICFシステム

取り組んでいただきたいこと：記録の分析を踏まえ、作業①で記入したICFシステムを見直し、支援前後の全体像を比較する。

- これまでの記録の分析を踏まえて、②の作業（ICFシステムの情報分析シートの作成）を再度行う。
- 全ての項目を書き直すのではなく、変化が見られた項目等必要に応じて加筆修正を行い、見直しを行う。

⑪ 支援手順書を修正する

使用するもの：支援手順書（事業所で使用しているもの）

取り組んでいただきたいこと：これまでの作業を踏まえて、支援手順書の見直しを行う。

- 作業⑩を踏まえ、作業⑦で作成した支援手順書の内容を見直し、必要に応じて修正する。
- 作業⑧の支援の実施へ戻り、可能な限りサイクルを繰り返す。